

平成 21 年度

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1471903052	事業の開始年月日	平成18年3月1日	
		指定年月日	平成18年3月1日	
法人名	有限会社Cocci			
事業所名	グループホームちゃばしら			
所在地	(〒239-0803) 神奈川県横須賀市坂本町5-5-18 TEL/FAX 046-823-0075			
サービス種別 定員等	<input type="checkbox"/> 小規模多機能型居宅介護 <input checked="" type="checkbox"/> 認知症対応型共同生活介護	登録定員	名	
		通い定員	名	
		宿泊定員	名	
		定員計	7名	
		ユニット数	1ユニット	
自己評価作成日	平成22年2月1日	評価結果 市町村受理日	平成22年4月19日	

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先	
----------	--

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

職員一人一人が利用者の身体の残存能力維持、認知症の緩和を目的とし、レクリエーションなど積極的に行っている。利用者の心身のリラックス、ホーム内の清潔保持を目的とし、積極的にアロマセラピーを導入している。天候が良いときは健康保持、体力増進の為に戸外へ散歩に出かけている(基本毎日)。地域との交流を積極的に図っている。開所以来職員の定着率が高く、利用者、職員皆で家族の様に過ごしている。

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社 R-CORPORATION		
所在地	221-0835 横浜市神奈川区鶴屋町3-30-8 S Yビル2F		
訪問調査日	平成22年3月11日	評価機関 評価決定日	平成22年4月16日

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

このホームの特徴
 ①このホームの経営は有限会社 Cocciで、汐入駅からバスで10分程度の所にある、1ユニット、2階建てのホームである。周囲には自然が残り、林や公園もあり、散歩にも適した環境である。ホームはオーナー(ホーム長)個人の経営で、この建物は親族の花屋の倉庫を改装したものであり、素敵な井出達に変わり、地元にも親近感がある。建物、周囲の土地の関係で、居室は7つであり、グループホームとしては小型なものであるが、この人数による共同生活は大家族と云える一体感があり、介護も手厚く行き届いている。朝、夕の2回、ミニカンファレンスを兼ねてホーム長、管理者、ケアマネジャーいずれかを交えて夜勤・日勤間で実施している。職員は資格よりも心の優しい人を優先して採用しているので開所以来ずっと定着しており、入居者も安心して生活出来てのは大きな利点である。市との連携も良く、判断に困るケース等、相談すると前向きに検討して頂けており感謝している。消臭を兼ねてアロマを導入しているのが1つの特徴である。時折、アロマを焚く他、お風呂での使用、雑巾がけの水に混ぜ、清潔と体力維持を兼ねてご利用者と一緒に行っている。
 ②地域との関係では、町内会に加入し、ご近所にも好意的にして頂き、町内会の行事、町内会館で行われる高齢者と若者の集いなどにもお招き頂き参加し、食事をしたり、歌ったり、良好な関係が出来ている。ご近所の方も良好な関係にあり、介護や福祉用具についての相談などを受けている。
 ③ケアについては、一般のワーカーの他にホーム長、管理者、ケアマネジャーが3人がいる贅沢で安心な職員体制で対応している。3人の職務分担は、ホーム長は1介護者として従事する他、経営者と事務方の業務を担当、管理者は1介護者として従事する他、ご利用者、ご家族の事一切を担当、ケアマネジャーは1介護者として従事する他、介護計画、カンファレンス等を担当する事としている。この体制でご利用者に“安全第一”“敬意をもって”“楽しく”を実現し、手厚いより良いホームを目指している。

【地域密着型サービスの外部評価項目の構成】

評価項目の領域	自己評価項目	外部評価項目
I 理念に基づく運営	1 ~ 14	1 ~ 7
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	15 ~ 22	8
III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	23 ~ 35	9 ~ 13
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	36 ~ 55	14 ~ 20
V アウトカム項目	56 ~ 68	

事業所名	グループホームちゃばしら
ユニット名	

V アウトカム項目	
56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者の
	<input type="radio"/> 2, 利用者の2/3くらいの
	<input type="radio"/> 3, 利用者の1/3くらいの
	<input type="radio"/> 4, ほとんど掴んでいない
57 利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	<input type="radio"/> 1, 毎日ある
	<input type="radio"/> 2, 数日に1回程度ある
	<input type="radio"/> 3, たまにある
	<input type="radio"/> 4, ほとんどない
58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者が
	<input type="radio"/> 2, 利用者の2/3くらいが
	<input type="radio"/> 3, 利用者の1/3くらいが
	<input type="radio"/> 4, ほとんどいない
59 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36, 37)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者が
	<input type="radio"/> 2, 利用者の2/3くらいが
	<input type="radio"/> 3, 利用者の1/3くらいが
	<input type="radio"/> 4, ほとんどいない
60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者が
	<input type="radio"/> 2, 利用者の2/3くらいが
	<input type="radio"/> 3, 利用者の1/3くらいが
	<input type="radio"/> 4, ほとんどいない
61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安な区過ごせている。 (参考項目：30, 31)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者が
	<input type="radio"/> 2, 利用者の2/3くらいが
	<input type="radio"/> 3, 利用者の1/3くらいが
	<input type="radio"/> 4, ほとんどいない
62 利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者が
	<input type="radio"/> 2, 利用者の2/3くらいが
	<input type="radio"/> 3, 利用者の1/3くらいが
	<input type="radio"/> 4, ほとんどいない

63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての家族と
	<input type="radio"/> 2, 家族の2/3くらいと
	<input type="radio"/> 3, 家族の1/3くらいと
	<input type="radio"/> 4, ほとんどできていない
64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	<input type="radio"/> 1, ほぼ毎日のように
	<input type="radio"/> 2, 数日に1回程度ある
	<input type="radio"/> 3, たまに
	<input type="radio"/> 4, ほとんどない
65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	<input type="radio"/> 1, 大いに増えている
	<input type="radio"/> 2, 少しずつ増えている
	<input type="radio"/> 3, あまり増えていない
	<input type="radio"/> 4, 全くいない
66 職員は、活き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての職員が
	<input type="radio"/> 2, 職員の2/3くらいが
	<input type="radio"/> 3, 職員の1/3くらいが
	<input type="radio"/> 4, ほとんどいない
67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者が
	<input type="radio"/> 2, 利用者の2/3くらいが
	<input type="radio"/> 3, 利用者の1/3くらいが
	<input type="radio"/> 4, ほとんどいない
68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての家族等が
	<input type="radio"/> 2, 家族等の2/3くらいが
	<input type="radio"/> 3, 家族等の1/3くらいが
	<input type="radio"/> 4, ほとんどいない

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	地域との交流を積極的に図り、地域に根ざしたホームとするという理念の下、町内会を中心に積極的に地域交流をしている。	理念の周知については、新入社員が入ったこともあり、特にケアマネが高齢者ケアについての想いが強くカンファレンスで教育に努めている。地域との交流を積極的に図り、地域に根ざしたホームとするという理念の下、町内会を中心に積極的に地域交流をしている。	今後の継続
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	町内会への加入。地域行事への参加。町内会でホームの紹介など行っている。	町内会に加入し、ご近所にも好意的にして頂き、町内会の行事、町内会館で行われる高齢者と若者の集いなどにもお招き頂き参加し、食事したり、歌の交流をする等、良好な関係が出来ている。ご近所の方とも良好な関係にあり、介護や福祉用具についての相談など受けている。町内会でホームの紹介など行っている。	今後の継続
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	今期、町内会からの依頼で認知症について、まだグループホームでの介護についての講演を行った。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	外部評価についてだけでなく、介護保険法改定についても説明をし、ホームがどのような状況下にあるか情報提供している。また、会議で出た意見は積極的に導入している。	運営推進会議のメンバーは、民生委員2名（一人は町内会副支部の責任者）ご家族代表とホーム関係者である。議題は外部評価の報告、介護保険法改定説明、ホームの状況報告それに情報提供を行っている。会議で出た意見は積極的に導入するようにしている。	今後の継続
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	市町村担当者とは連絡を密にし、協力関係を築く取組みを積極的に行っている。	横須賀市は福祉に熱心であり、横須賀市の担当者とは連絡を密にし、協力関係を築く取組みを積極的に行っている。	今後の継続

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	利用者の心身の状態の安定を図る為にも、身体拘束は行わないという理念の下、日常のケアにあたっている。	ご利用者の心身の状態の安定を図る為にも、身体拘束は行わないという理念の下、日常のケアにあたっている。職員は身体拘束の弊害を十分に理解している。玄関は常に開放し、鍵をかけたケアを実践している。	今後の継続
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	管理者に於いては、高齢者虐待研修に積極的に参加し、研修で受けたことを職員に降ろしている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	管理者が研修参加をし、会議等の場で職員に話している。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	入居相談、契約時には十分な説明を行っている。相談窓口は随時相談可能にしている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	利用者、ご家族からの意見、要望に関しては積極的に受け入れ、可能な限り事業の運営に反映させている。	ご利用者、ご家族からの意見、要望に関しては積極的に受け入れ、可能な限り事業の運営に反映させるよう努めている。	今後の継続

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	ホームをよりよくする為に、職員からの意見も可能な限り積極的に導入するよう管理職は心掛けている。	ホームをよりよくする為に、職員からの意見も可能な限り積極的に導入するよう管理職は心掛けている。新入社員も増えたのでOJTにより教育しつつ、個別に意見も聴くように配慮している。	今後の継続
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	職員個々の努力、実績、能力を把握し、各自が向上心を持って働けるよう整備に努めている。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	職員個々のケアの実際と力量を把握し、各々に適した研修を働きかける等心掛けている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	管理者を中心に、グループホーム協議会の研修には積極的に参加するようにしている。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	サービス開始の段階で困っていることなどの相談を受け、要望等に関しては積極的に受け入れるように心掛けている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	利用者同様、相談等には親身に対応している。相談窓口は常に対応出切るようにしている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ケアマネがアセスメント、サービス計画表を作成するにあたり、どんなサービスが一人一人の利用者に必要か見極めるよう努めている。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	小規模ホームであることを活かし、皆が家族と思えるようなケアを提供している。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	月に1回利用者の状況を書面にて報告している。また毎年夏にご家族をホームに招き食事会を開いている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	日中生活の中で手紙を書いたりしている。	日頃生活の中で、手紙を書いたりしている。ここを第2の我が家として生活して頂けるよう近所との交流を大切にすると共に、消臭を兼ねてアロマを導入し、時折、アロマを焚く他、お風呂での使用、雑巾がけの水に混ぜ、清潔と体力維持を兼ねてご利用者と一緒に行い、快適な生活をサポートしている。	今後の継続

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	小規模ホームであることを活かし、皆が家族と思えるような関係作りを心掛けている。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	サービス利用終了後も賀状を送るなどホームの近況報告を行っている。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	利用者一人一人のそれまでの人生を反映出切るような生活を心掛けている。本人本位のケアをすることは必然である。	ご利用者一人一人のそれまでの人生を反映できるような生活を提供できるよう努めている。ご本人本位のケアをしながら一人ひとりの思いを聴き、モニタリング・アセスメントに繋げている。	今後の継続
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ケアマネを中心に、利用者のそれまでの人生について把握をすることに努め、日中の生活に活かすよう心掛けている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	会議だけでなく、日常も管理者、ケアマネを中心に話し合いをし、利用者一人一人の状態把握に努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ケアマネを中心に、会議、日常の中で利用者が日々を快適に過ごせるよう話し合いの場を設け、提供するサービスの向上を図っている。	医師の指導や日常の介護の記録からモニタリングシートにまとめ、3ヶ月に1回のアセスメントを行っている。ケアマネを中心に、会議、日常の中でご利用者が日々を快適に過ごせるよう話し合いの場を設け、提供するサービスの向上を図っている。ケアのポイントを“安全第一”“敬意”“楽しさ”に置き、気に入って入居を希望して頂くようなホームを目指している。	今後の継続
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	気づきや、サービス向上の為の良い情報についてはサービス記録への記入だけでなく、職員ノート、口頭での伝達等行い。皆が認識出切るよう努めている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	いい意味での臨機応変に対応できるケアを心掛けている。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	利用者一人一人の暮らしを支えている地域資源への把握に努め、一人一人が快適な日常を送ることが出切るよう努めている。		
30	11	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	提携医療機関へ拘らずに利用者本人、ご家族の希望に沿った医療機関受診に努めている。	提携医療機関へ拘らずにご利用者本人、ご家族の希望に沿った医療機関受診に努めている。提携医療機関は近くの医院を設定している。痛みの解消など終末期の対応等についても相談するようにしている。	今後の継続

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	現在介護職員の雇用なし。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院した際には面会に脚を運ぶ等して、入院中の利用者の状態把握、医療機関からの情報収集に努めている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	利用者の状態に応じ、重度化、終末期の話をご家族とし、希望に沿ったケアをするよう努めている。	ご利用者の状態に応じ、重度化、終末期についての話をご家族とし、希望に沿ったケアをするよう努めている。終末期を迎える前に医師、ご家族の3者で方針を再度話し合うことにしている。	今後の継続
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	緊急時、事故発生時のマニュアルを作成し、職員にはそれを周知している。会議等で上記の説明、研修を行っている。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	災害時等の対応マニュアルを作成している。事業所会議で町内への協力体制を依頼している。	災害時等の対応マニュアルを作成し、事業所会議で町内への協力体制を依頼している。防災訓練を定期的実施しているが、消防との合同防災訓練も考えていきたい。	今後の継続

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	運営方針で利用者への介護は同視線で、また畏敬の念を持つよう提示し、職員一人一人がそのことを念頭において介護あっている。	運営方針でご利用者への介護は同視線で、また畏敬の念を持つよう提示し、職員一人ひとりがそのことを念頭において介護にあっている。人格の尊重、プライバシーについての研修も実施している。	今後の継続
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	利用者が日常生活を快適に送れるような環境づくりに努めている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者優先、利用者一人一人がホームの主演とすることを常に心がけ、サービスを提供している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	女性らしい身だしなみを心がけ、整髪、化粧等行っている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事が楽しみなものとなるよう、一人一人の能力に応じた準備、片付け等の手伝いをして頂いている。	食事は独自のメニューでご利用者の希望を聞きながら一緒に買い物に行き提供している。食事が楽しみなものとなるよう、一人ひとりの能力に応じた準備、片付け等の手伝いをして頂いている。	今後の継続

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	体重、病気等に応じ、食事制限が必要な場合は、食事量調整を行う。また水分摂取量に於いては記録をし、状況把握に努めている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後口腔ケアを行っている。自立出来ている方も最後に職員が確認をし、口腔内の清潔に努めている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	例えオムツ使用の身体的に重度の方であっても、トイレで排泄をするアプローチをしている。	例えオムツ使用の身体的に重度の方であっても（つかまり立ちの人など）、トイレで排泄をする支援をしている。立つのもリハビリと考えている。殆んどがリハパンであるが、早目の誘導を心がけている。	今後の継続
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	便秘が及ぼす副作用については十二分に理解し、飲食物の工夫、日常生活の中で運動をするよう心掛けている。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	以前は一人一人が毎日入浴していたが、利用者の体力等を配慮し、現在は隔日入浴を基本としているが、状況に応じた対応をしている。	以前は一人ひとりが毎日入浴していたが、ご利用者の体力等を配慮し、現在は隔日入浴を基本としているが、個々の状況に応じた対応に努めている。二人介助の人も多いが、職員は、熟練した対応で支援している。	今後の継続

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	日中の過ごし方についてはおおまかな流れだけ決めており、それにとらわれず、一人一人のペースで過ごして頂いている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	職員全員が服薬の目的、副作用等を理解し、十分に注意をして支援している。また薬の変更については、記録、職員ノート、口頭伝達と3段階で申し送りを行っている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	利用者それぞれの力を活かせる様にそれまでの人生、経験を踏まえたアプローチを心掛けている。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけるように支援している	戸外への散歩は毎日の日課にしている。また気候がいい時に車を使用してホーム全体での外出を行っている。町内のお祭り等参加をする場合は町内会に協力要請をする。	戸外への散歩は順番に、毎日の日課にしている。また気候がいい時に車を使用してホーム全体での外出を行っている。町内のお祭り等参加をする場合は、町内会に協力を頂いている。	今後の継続
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	現在、介護度が進み自室にお金を所持している方はお一人である。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	今回利用者がご家族に年賀状を書いてみた。電話に関しては希望があった場合にはかけて頂いている。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	毎月利用者とその月々の季節感を出せる様な掲示物を作成している。また、清潔保持、消臭の為にアロマオイルを使用している。	毎月、ご利用者とその月々の季節感を出せる様な掲示物レクを兼ねて職員と作成している。玄関の生け花、切り花も欠かさないようにしている。また、清潔保持、消臭の為にアロマオイルを使用して、生活空間を居心地よく過ごせるよう配慮している。	今後の継続
53		○共用空間における一人ひとりの居場 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	共有空間の中で、それぞれお気に入りの場がある。気が合う利用者同士で、快適に過ごせる様な空間作りを心掛けている。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室には家具、写真など馴染みの物を持参して頂き、出来るだけ自宅にいた時と同じ様な空間で過ごして頂くような働きかけをしている。	居室には家具、写真など、ご利用者の馴染みの物を持参して頂き、出来るだけ自宅にいた時と同じ様な空間で過ごして頂くように配慮している。	今後の継続
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	ホーム内は安全かつ、自立が出来、また認知症の緩和にもなるような構造にしている。		

目 標 達 成 計 画

事業所

グループホーム ちゃぼしら

作成日

平成22年 3月 11日

〔目標達成計画〕

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	8	権利擁護に関する研修受講	全職員の権利擁護への意識向上	研修・勉強会の機会増加	1年
2	14	同業者同士の交流	同業者と交流をすることで、職員のスキルアップを計る。	同地域のホームとの交換研修等	1年
3	31	看護職員の配置	利用者の体調管理の更なる徹底	看護職員の雇用については検討中	

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。